

### 教職員の多忙化対策

群馬・榛東中、独法の表彰制度で優秀賞

# 小テストにマークシート

## 採点・分析の時間短縮

【御教員研修センターを前身に昨年4月に発足した御教員支援機構（茨城・つくば市）は2日、教職員の多忙化対策など教育現場の課題解決や教員の資質向上に向けた実践事例の選考会を開いた。多忙化対策では、授業中の小テストにマークシート形式を導入、採点と分析の時間を短くした中学校などが優秀賞を受賞。4時間かかっていた作業が10分になったという。



この選考会は今回が英語表記の頭文字を初めて、昨年11月かつなげて「NITS大から全国の学校・教員を賞」と呼んでいる。対象に活動事例を公開マークシート形式の「多忙化改善」な小テストを導入したの4部門に106件のは群馬県榛東村立榛東中学校、2日には、大

阪市立大空小学校で校長を務めた木村泰子氏ら5人の審査員を前に口頭発表を行った。発表によると、同中学校では、生徒が学習内容をよく理解しない

まま、理科の授業を進めていたことを課題視。小テストを通して、生徒のつまづきを見つけてみることを試みてきた。民間企業が提供して

いるマークシート式の採点ソフトを導入し、表計算ソフトと連動させたところ、4学級分に4時間をかけていた作業が10分ほどにまで短くなったとした。その結果、教材研究の時間を確保したり、生徒への個別支援に力を注いだりできるようになったという。

同中学校が使った採点ソフトは合同会社Pコンシューションヨシダが販売している「マークくん」。スキナー

を使って答案を読み取る仕組みだという。幼でワークシェア

多忙化改善部門では、東京都板橋区の城山みどり幼稚園（私立）と、静岡県立中央特別支援学校も優秀賞を受賞。同幼稚園は、午後5時15分に全員が仕事を終えて退勤するという目標を掲げ、仕事量の多い教員を他の教員が支援しやすくなるような「ワークシェアリング」を導入。目標を達成できた。同特別支援学校は、会議、書類作成を見直すなどした。

2日は10件の優秀賞の中から、大賞を選んだ。大賞は、研修成果活用部門で応募した福井県立丹生高校が受賞。同高校は動画ウェブサイトを使った校内研修を行うなどしてき

を使って答案を読み取る仕組みだという。幼でワークシェア

多忙化改善部門では、東京都板橋区の城山みどり幼稚園（私立）と、静岡県立中央特別支援学校も優秀賞を受賞。同幼稚園は、午後5時15分に全員が仕事を終えて退勤するという目標を掲げ、仕事量の多い教員を他の教員が支援しやすくなるような「ワークシェアリング」を導入。目標を達成できた。同特別支援学校は、会議、書類作成を見直すなどした。

2日は10件の優秀賞の中から、大賞を選んだ。大賞は、研修成果活用部門で応募した福井県立丹生高校が受賞。同高校は動画ウェブサイトを使った校内研修を行うなどしてき